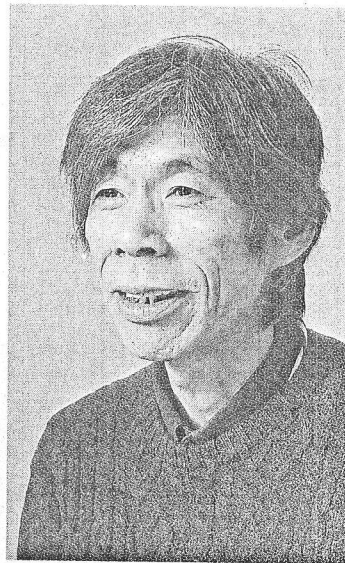


「傾聴」に取り組む

さいとう しゅうじ
齋藤 修司さん



悩みや喜び 心に寄り添う

傾聴というまだなじみのない取り組みだが、初日に早速利用者があった。求職中の中年男性。自らの生い立ちや現状などを話し、ほっとしたのかそれから頻繁に顔を出してくれるようになった。「初めてこちらに見

歳。

「心音」の利用は無料。

当面は木曜日をメインに予約を受け付けている。

申し込みは ☎080・6066・6668へ。

(須藤幸恵)

帯広市内の電信通り商店街の一角に11月25日オープンした傾聴所「心音」で、来場者の心に寄り添い悩みや喜び、悲しみなどに耳を傾ける。ここは相談所ではありませ

「傾聴所は社会福祉法人 心音」が運営。自身も同法人が運営する障害者施設「帯広ケアセンター」職員で、傾聴所だけでなく、障害者とともに農作業を行ったり、生活保護者の自立支援も担当している。

えたときには顔つきも沈んでいて、それからまめに来てくれて、徐々に変わっていききました。本当にうれしかったです。孤独死や無縁社会が社会問題となる中、あらためて人と人とのつながりの大切さを実感した。

釧路市出身。愛知県の

